



まつもと つぎお 松本 次男 (無所属)

有害鳥獣対策・

会計年度任用職員制度について

捕獲隊の体制強化について

問 専門的な知識や技能を有する人材を市で雇用する考えは。

答 捕獲に関しては、座学では対応しきれないノウハウがあることから、雇用について検討します。

問 被害多発地区へ捕獲隊員を弾力的に配置する考えは。

答 捕獲隊は、地域に即した捕獲方法や住民との信頼関係を基に活動しています。被害多発地区では、住民のわな猟免許取得の推進に取り組みます。

市民と連携協力した対策の推進について

問 個人で檻を購入する場合の購入費補助の考えは。

答 補助制度について考えます。

問 荒れた竹林等の伐採による生息環境管理や檻の見回りなど、市民の主體的な取り組みへの支援は。

答 市民と行政が一体となり、対

策を推進することが重要と考えます。関係機関とも連携し、研修会や勉強会などの支援を行います。

答 焼却施設等の共同設置について

焼却施設等の共同設置について

問 広域的な視点から、県や隣接市町との情報交換や有害鳥獣焼却施設等の共同設置の考えは。

答 焼却施設の設置については、設置場所や維持管理等の課題もあり、引き続き検討します。その他、1項目について質問しました。



出没する有害鳥獣



さくらい ひろえ 櫻井 ひろ江 (日本共産党安中市議団)

安中のやきもの・交通安全対策・

市内企業のスラグ問題について

学習の森の企画展における「自性寺焼」と「安中焼」について

問 昨年12月からの企画展で『明治時代に、自性寺、下野尻、湯沢の窯の焼き物を「安中焼」に統一した。』との見解に疑問の声がある。統一した論拠は何か。

答 名称は不明でしたが、明治20年代の多治見の陶器商が出版した全国の陶磁器番付表に「上野安中焼」とあり、「安中焼」と言われていたと考えられます。企画展での説明のための名称であり、学術的に統一したものではありません。

問 昭和50年代の「自性寺焼」の復興に当時、市の活性化が期待される発言などがあり、以前から呼ばれていたということではないか。復興以前の「自性寺焼」は、どうであったか。

答 大正11年発行の「上毛及び上毛人」という雑誌に、安政年間「自性寺焼」と呼ばれる陶器

があつたが廃絶したと紹介されており、「自性寺焼」の名前が使われていた可能性があります。

答 やきものや遺跡を活かした地域おこしについて

自性寺周辺には、多くの窯跡や遺跡があり、僧侶の墓もある。道路工事関係で県の発掘作業も再開した。「自性寺焼」の名を残し、地域おこしへの支援は。

問 自性寺周辺には、多くの窯跡や遺跡があり、僧侶の墓もある。道路工事関係で県の発掘作業も再開した。「自性寺焼」の名を残し、地域おこしへの支援は。

答 文化財や郷土の歴史資料等を通して貢献していきます。その他、2項目を質問しました。



企画展「安中のやきもの」解説書とチラシ